広報 Ibaraki Public Information
いばらき
2026年（令和８年）
10月１日　発行
10
No.1161
October 2026

◆編集・発行
茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029－292－1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

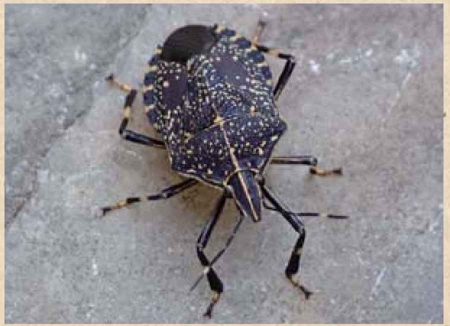
◆人口
住民基本台帳
令和８年８月末現在
男　14,983人
女　14,918人
総人口　29,901人
世帯数　13,840世帯

◆茨城町民憲章
1　ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
1　からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
1　隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
1　自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
1　文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花　桜
◆町の木　梅
◆町の鳥　うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎０８００－８００－８８４８
（通話料無料）
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!
- 町公式ホームページ
https://www.town.ibaraki.lg.jp/
- 町公式Ｘ（旧ツイッター）
https://twitter.com/IbarakiTownMati/
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
- 町公式ライン
https://page.line.me/?accountId=ibarakitown



里山に育む生きものたち

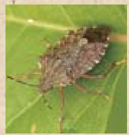
No.171　キマダラカメムシ（カメムシ科）

学名　*Erthesina fullo*

写真・文　小菅　次男

▼我が家での初発見

今年の５月、玄関前で大型のカメムシを見かけました。冬を越したクサギカメムシと思い写真を撮りました。パソコンに入れて驚きました。今までに見たこともないカメムシでした。カメムシに詳しい茨城生物の会副会長の成田行弘氏に尋ねたところ、数年前に茨城県でも確認され話題となっているキマダラカメムシであることが判明しました。茨城町にもすでに侵入していると思われます。ぜひ注目してください。


クサギカメムシ

▼キマダラカメムシとは

本種は体長20～23㎜ほどの大型の美しいカメムシで東南アジア原産とされ、近年日本各地で急速に分布を広げている外来種です。黒い体に黄色い小さな斑点のあるのが特徴です。頭部は細長く、黒い触角には白い帯があり、頭から背中にかけて黄色い線が入っています。脚にも黄色い部分があります。

▼約250年前に長崎で発見

本種は安永４年（１７７５年）頃（江戸時代）にツンベルク氏が長崎の出島で採集し、天明３年（１７８３年）に記載され、その後長い間発見されず、約１５０年後の昭和９年（１９３４年）頃に長崎市を中心に県下の各地で再発見され、現在では九州から始まって本州に広がり茨城県では数年前から確認されるようになったばかりです。

カメムシの外来種といえばこれまでは肉食性のヨコヅナサシガメが圧倒的な注目を誇っていましたがキマダラカメムシの登場でその地位が奪われそうです。

ヨコヅナサシガメ

▼ソメイヨシノが大好き

キマダラカメムシはサクラ、カキ、ウメなどの樹液を吸います。特にソメイヨシノやシダレザクラを好みそれに産卵します。

成虫は４月～10月にかけて年２回発生し、成虫のままで越冬します。

近年は全国的に増えつつあり、山間部よりは都市部に多く見られる傾向があります。都市部には街路樹や公園などにサクラが数多く植えられているため、餌や産卵場所に恵まれ、分布を広げやすいと考えられます。

今後、果樹園などで大発生すれば、農作物に大きな被害を与える可能性があります。現在のところは具体的な被害は起きていないようです。

【お詫びと訂正】
広報いばらき9月1日号において、表記の誤りがありました。お詫びして訂正します。
▼20ページ　里山に育む生きものたち
（誤）アケビコノハ（タテハチョウ科）
（正）アケビコノハ（ヤガ科）

2026 いばらきまつり開催！

農商工の様々な分野が一堂に会する町最大のイベント！物販・グルメ・体験・PRブースのほか、ステージショーも盛りだくさん。

まつりの最後を飾るフィナーレ花火は例年を上回る規模でお届けします。ぜひご来場ください！

日時／11月１日（日）
午前10時～午後6時40分
場所／茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」前駐車場

再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK
環境に優しい大豆油インキを使用しています